

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

### ○記入方法

#### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

#### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

#### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

#### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

### ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム モン・サンあぜかり
(ユニット名)	あぜかりⅢ
所在地 (県・市町村名)	長崎市豊洋台1丁目3-1
記入者名 (管理者)	田川 万里子
記入日	平成 20 年 11 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者様各々に見合った支援を、出来る事・出来ない事を見極めながら、家庭的な雰囲気の中で行っている。地域や家族とのつながりを大切にしながらの運営も行っている。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念は常に見れるところに掲示しており、その理念にあったケアを実践するように心がけ日々努力している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	面会時やイベント(夏祭りなど)地域の方々や訪問した際の接点を大事に見えるところへ掲示したり、会話の中に織り交ぜながら理解して頂く為の努力をしている。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の自治会に加入しており市民大清掃や自治会活動に参加したり、施設行事に参加して頂きながら日常的な付き合いができるよう努めている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設行事や概ね2ヶ月に1度の運営推進会議を開催し、自治会の役員・自治会員の方へ参加して頂いたり、自治会活動に参加したりしながら交流しています。	○	校区内の小学校(鳴見台小学校)との交流を行っている。施設訪問や課外授業への職員参加など。

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の小学校と交流ができ核家族の世帯が多い現状の中、高齢者のいたわりや優しさを感じてくれる事に役立てないか、今後も話し合い、取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価にて指摘された項目に対し、会議を開き職員で話し合い、評価して頂いた項目に関しても満足するのではなく、より良いホームになる様に改善に取り組む努力をしている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、施設での現状やイベント・行事などの報告を行っており、そこで出た意見・要望をサービスの向上に活かしている。事前に運営推進会議の内容の要望や意見もお聞き取り入れている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設運営の中でわからない事などを市町村に確認・相談し情報収集しサービスの質の向上に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市及び法人内研修など参加を行っているが、現時点で必要とする方がいらっしゃらない状況です。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会への参加や月に1度の勉強会にて虐待防止にのため、日々の記録などを検討し現状のサービス内容に注意を払い防止に努めている。		

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所される際に、文章にて記載された物を御渡ししており、それぞれの項目にそって目を通して頂きながら十分な説明を行い、同意・捺印して頂いている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に入居者様が何でも話せる様に馴染みの関係が保たれ不満や苦情が言える関係のコミュニケーションを図る。</p>	<p>○</p> <p>運営推進会議に入居者様にも参加して頂き意見など言える機会を設けている。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話連絡を行った際には必ず現状報告を行い、協力病院からの報告書なども手渡したり、遠方の御家族にはケアプランなど郵送する際一緒にお手紙を同封している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関ロビーに御意見箱を設けいつでも投書できるようになっている。アンケート方式の文章で御家族へ郵送し苦情・要望などお聞きする機会も設けました。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回スタッフ会議があり各施設の職員が集まりより良くする為の意見交換が行われ、反映されている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ケアプランなどの作成にあたり、モニタリングを行う為のカンファレンスを確保し話し合いを行っている。急な状態変化時にも対応できるように調整している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>移動を行う場合は、移動を行う前に事前に入居者様へ報告し全員変えるのではなく数人は残し入居者への影響を少なくしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>県や市の研修会や職場内研修へ参加し意識改善や質の向上に努めている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>長崎市グループホーム連絡協議会の会員として、協議会や地区会の話し合いを開催し、研修や親睦会など交流や意見交換が出来る機会を作りそれらの活動を通じてお互いにサービスの質の向上に努めている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>月1回施設をよくする会議で何でも言えるように、ストレスを軽減出来るよう場を提供するように取り組んでいる。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>定期的な会議及びミーティングを開催し職員が意見を言い易い場を作れる努力を行っている。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初期の段階において、コミュニケーションを蜜にとりながら、少しずつお話しをしていく中で困ったことや不安なことを聞き出し受け止める努力をしている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>施設へ見学に来られた際や面談時などに、これまでの悩みや不安に思っていること今後の心配事などをお聞きし、安心していただけるような説明を行っている。</p>	

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前のサマリーや生活暦を伺い情報収集に努め、事前に職員へ情報提供し様子観察・確認を行いながら支援する際役立てている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	慣れない環境に徐々に馴染めるように、これまで使用していた衣類や生活用品を使用して頂き安心感を与え、ご家族にも協力して頂きながら無理なく生活できるよう努める。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	御本人様を支援しながらも、家庭的な環境の中一人ひとりを尊重し支え合える立場になり、楽しく生活出来る関係を築けるよう努めている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人様にとってご家族が望んでいるサービスが適しているかどうか疑問視されることがあります。そのような場合は本人様の日常の様子を報告しご家族と共に話し合いながらより良い支援が出来るように努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	日々の様子を記録などを用いて面会時などに報告し、本人様とご家族の間が途切れないよう情報提供を行い、よりよい家族関係が保持できるよう支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的な外出や外泊など御家族にも協力して頂きご本人様の要望が叶えられ安心した生活が送れるような工夫を行っている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人ひとり出来ること出来ないことを把握し得意分野が発揮出来るような機会を作りお互いが助け合えるよう工夫している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	通信便りや年賀状・暑中見舞いを通し継続的に関わりを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の希望に沿った生活が出来るように常にお話をし要望を聞く状態にしている。困難ケースの場合はカンファレンスを開きご家族とも相談しながら支援を行っている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に御家族より情報収集を行い、その後は本人様との関わりの中でより詳しい内容を把握し努力を行っている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に日々の様子観察し記録に残しながら、心身状態や残存能力の現状を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の記録を元にご本人の意向、ご家族の要望を取り入れながら職員の意見も各々反映し、ケアプランを作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にモニタリングを行い生活現状に即したケアプランを作成し変化に応じて随時話し合い見直しを行いご家族へ報告し変更作成している。		

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や申し送りを行いながら、職員間の気づき反省を共有しながら実践しケアプラン作成に活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人様の要望や状況に応じて、リハビリや受診へお連れしたり買い物や外出・ドライブなどの支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事(市民大清掃・音楽コンサートなど)の参加や消防訓練・校区内小学校との交流などの計画・参加している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入所時に関ったケアマネと情報交換を行ったり訪問調査時に他のホームの情報は行っているが利用が現在行っていない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	要介護者対象である為、現在施設内のサービスのみである。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設の母体が医療機関で夜間や緊急時にも対応でき、入所される際に医療機関の説明も行い本人様・御家族の要望もふまえながら診察を行っている。専門外の医療は地域の医療機関を通院している。		



グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>母体である医療機関に認知症専門病棟があり、診断や治療を行えるようになっている。入居者様の体調やお薬に関してこまめに相談を仰ぎ指示を頂いている。</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>入居者様と馴染のある看護師に定期的なバイタルチェックや健康管理の方法・皮膚疾患の視診や処置の行い方などいつでも指示を仰げる体制となっている。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>出来るだけ長期入院を避けるために、初期段階で治療して頂き症状の悪化などを防止している。入院時に安心して過ごせるように日々の生活の状況や症状の申し送りを行情報交換や相談を行っている。</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>母体である医療機関との連携を密に取り本人様やご家族の希望・苦痛などの軽減等最善の方法を話し合いながら方針を決定している。</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>介護と医療の見極めご本人様の最善の方法を協力病院と共に全体で話し合い指示を仰ぐ様にしている。</p>		
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>情報交換及び問題障害事項も含め次で迎える生活も安心できるように申し送りを行い環境変化によるダメージを防ぐことに努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に尊敬の気持ちを持ち優しく心ある言葉掛けを心掛け個人カルテなど個人情報などが記載されたものは、第三者の目が届かないところに保管している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	本人の意思を尊重する為にも常に問いかけの問答を心掛け、入居者様の思いに反することはせず自己決定して頂きながら、納得した暮らしが送れるように支援している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先させるのではなく、入居者様一人ひとりの気持ちやペースを大切に、無理強いせずその人らしく過ごしていただきながらも規則正しく暮らしていけるように支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみが出来るよう一緒にコーディネートし本人様の希望を取り入れている。散髪や買い物など希望の店があれば、家族の協力を得ながら出来る範囲の支援は行っている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日常生活でコミュニケーションを取りながら、好き嫌いを把握し食べやすいように調理の工夫を行ったり、一緒に下ごしらえなどを行っている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	それぞれの好みに合わせて、本人様や御家族と相談しながら日常生活に支障をきたさない程度に支援している。	

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェックを行いながら、できるだけおむつや尿パットを使用せず便座でスムーズに排泄できるように水分調整や便秘薬の内服によって様子観察をするように努めている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	スケジュール上週に3回定期的な曜日になっているが、本人様の体調や気分に合わせて、出来る限りで時間や曜日を変えるなどの支援を行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個室の居室を皆様もたれているので、体調や気分によって御自分のペースで休息できるよう支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来ること出来ないことを見極めながら、能力可能な限り調理の下ごしらえ・洗濯物たみなどの役割を持って頂いている。リハビリやレクリエーションを行い体を動かしたり音楽鑑賞をしたり気晴らしされている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御自分で管理できる方には御家族よりお小遣い程度の額を頂き管理されている。時折買い物などへ出掛け自由に使用している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとのピクニックや行事毎(帆船祭り・おくんちなど)のドライブに出掛けている。日常的にも気分転換やリハビリを兼ねて散歩や買い物に出掛けている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとのピクニックや行事毎(帆船祭り・おくんちなど)のドライブに出掛けている。御家族にも協力して頂きながらお墓参りや希望される場所へ出掛けられるよう支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	管理できる方は居室に個人の電話を設置したり、電話の希望があれば取り次いだり出来るように支援している。手紙の返事で依頼あれば見直し行っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問あった際、居室内の温度・証明など調整行い近況報告などを行っている。季節ごとのお茶(温かい・冷たい)や椅子などの提供を行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内外での勉強会などで拘束について学ぶ機会を持ち、禁止の対象となる行為について理解するように心掛けている。拘束のない安全なケアが行えるよう目配り・気配り・声掛けを行って職員間でも注意し合っている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室及び出入り口の鍵は常に開けており本人様の意思で自由に行き来出来るようにしている。建物の玄関は車道に面しており事故防止と安全性確保の為、家族の許可を頂き内側からはボタン操作でドアが開くようになっている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日々の体調の把握(バイタル・歩行レベル・排泄状況など)声掛けなど行いながら所在と安全確認行っている。そのため居室ドアは許可を頂き開放しプライバシー保護のためのれんを使用している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	定期的な車椅子の点検やベット柵の設置など行い一人ひとりの状態に応じた危険防止に努めている。薬・洗剤・火気類は必要時以外は職員が管理している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月に1度の会議内で事故防止の為にひやりハットを基に事故原因と対応策を話し合い、その他ケアプラン作成及びモニタリング時カンファレンスなどで検討している。研修会や会議などの積極的参加の呼び掛け行い出来る限り参加して頂いている。		

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急処置などの研修会に参加し初期対応の行い方を学んでいる。夜間など怪我や急変などあった場合協力病院に連絡を行い指示を仰いでいる。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防訓練行っているが、現在は職員と入居者様のみの訓練である。今後地域の方々の参加も呼び掛けていく予定。	○	平成20年11月4日(火)消防署より職員2名と自治会より2名参加して頂き消防訓練と災害時の対応策について消防職員より指導頂いている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所時や日々の生活の中で起こりうるリスクを職員で検討しご家族や御本人に説明し納得して頂きながら、安全な生活が送れるように支援している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々のバイタル測定や顔色や様子を伺いながら様子観察行う中で、異変を察知し速やかに協力病院へ連絡し指示を仰ぎ対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人台帳に現在服用している薬の処方箋をファイリングしており、職員が把握出来る様にしている。体調の変化により内服薬の中止など協力病院への報告もしくわ受診し指示を仰いでいる。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表見たり様子観察行いながら、リハビリを兼ねた運動や水分補給などに取り組んでいる。また御家族に協力して頂きヨーグルトなど用意してもらったり協力病院に相談し内服薬の増減や治療をして頂いている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケア及び残渣物除去の確認を行い、夕食度は洗剤にて義歯洗浄行っている。		

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事動作や嚥下状態・体調状況など把握しながら、その方に適した食事形態及び量を提供し必要に応じて介助行っている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する研修などへの参加を呼びかけ職員全員が対応出来る様に浸透させている。月に1度の会議内でも感染予防の勉強会が行われている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為に食材に1度火を通したり、不衛生にならぬように常に掃除・消毒を行い衛生管理を徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関入り口には行事ごとの写真や職員のメッセージ付き顔写真を掲示し施設内での生活が伝わるように工夫している。明るく広々とした造りで施設内の様子も外から分かり訪問しやすくなっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールなどの共用空間も常に清潔である様心掛け穏やかに過ごせる配慮をしている。レクリエーションなどで作成した作品・誕生日表や季節の花など飾りつ居心地良く過ごせるような工夫をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間に食卓テーブル・ソファがあり気の合った者同士がお話しされたり唄を歌ったり思い思いに過ごせるようになっている。また、畳のスペースでは読書や書道・箱折など行いながらのんびり過ごすことが出来る。		

グループホームモン・サンあぜかり 3階

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実際に使われていた、茶碗や箸・湯呑みなどの食器やタンスなどの家具を使用したり人形や写真などを飾り居心地良く過ごせるように御本人様と一緒に工夫している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめな換気を心掛け、温度計を見ながら空調調節を行い健康的に過ごせるように努めている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やホールなど整理整頓し無駄なものを置かない様にし手すりも備え付けてある。週に1度PTに訪問して頂き各々に合ったリハビリメニューを作成してもらいリハビリ行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来ること出来ないことを見極めながら、それぞれの得意分野を活かし家事や畑作業など職員と共に行っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に畑を作り野菜などを育てたり駐車場や建物周りで散歩しながら気分転換や歩行訓練に活用している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない



グループホームモン・サンあぜかり 3階

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

出来る限り入居者様や家族の要望（買い物や外出など）に応えられる様に努力している。職員の支援が難しい場合は御家族に相談し協力して頂いている。